



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社キャピタル・アセット・プランニング 上場取引所 東
 コード番号 3965 URL <http://www2.cap-net.co.jp/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北山 雅一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務経理部長 (氏名) 青木 浩一 (TEL) 06-4796-5666
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の業績 (平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|------|----------------------------|-------|------|-------|--------|---------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年9月期第3四半期 | 4,838 | 11.2 | 382 | 614.8 | 377 | 738.3 | 224 | 1,215.4 |
| 29年9月期第3四半期 | 4,351 | 58.1 | 53 | △49.8 | 45 | △59.4 | 17 | △72.2 |
| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 30年9月期第3四半期 | 85.55 | | 85.31 | | | | | |
| 29年9月期第3四半期 | 6.84 | | 6.62 | | | | | |

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、平成29年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年9月期第3四半期 | 4,259 | 1,609 | 37.6 |
| 29年9月期 | 3,591 | 1,462 | 40.7 |

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 1,602百万円 29年9月期 1,462百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年9月期 | — | 0.00 | — | 23.00 | 23.00 |
| 30年9月期 | — | 11.00 | — | | |
| 30年9月期(予想) | | | | 19.00 | 30.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の業績予想 (平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,620 | 10.1 | 470 | 38.2 | 460 | 40.7 | 295 | 35.1 | 112.20 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 30年9月期3Q | 2,634,248株 | 29年9月期 | 2,621,448株 |
| 30年9月期3Q | 740株 | 29年9月期 | 671株 |
| 30年9月期3Q | 2,626,665株 | 29年9月期3Q | 2,497,673株 |

(注)

当社は平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成29年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦や地政学上のリスク等、不安定な海外情勢が続いているものの、海外経済の回復を原因とする企業収益や雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が継続しております。

当社が属する情報サービス産業におきましては、金融機関を中心にフィンテックやA I (Artificial Intelligence)の活用ニーズはますます高まり、今後もI T投資は堅調であると期待されます。一方で投資やサービスの効果に対する顧客要求の高まり、保守・運用コスト削減ニーズに加えて、開発技術者不足が続いていることなど、価格競争の厳しさ及び今後の製造原価上昇の懸念は続いております。

このような環境のなか、当社においては、生命保険会社向けの①ライフプランシステム、②エステートプランシステム、③設計書システム、④申込書システム、⑤生命保険契約ペーパーレスシステム等の販売強化に加えて、バックオフィス業務の省略化、効率化を実現するフロントエンドシステム及びR P A (Robotic Process Automation)の開発、販売を進めました。また統合資産管理システム、アセットアロケーションシステム等のプラットフォーム販売及び当システムを活用した富裕層向けの資産管理コンサルティング契約の獲得も継続いたしました。

さらに、A Iの一つである遺伝的アルゴリズムという手法を用いて相続財産に対して、ある資産はある相続人へと分割しながら、承継した金融資産で相続税を納税し、各相続人へ目標とする分割割合に近似する財産分割案を生成するシステムを開発いたしました。

また、受託案件増加に伴う開発生産体制の一層の強化のために外注費の増加、新技術の習得やフィンテック関連の研究開発、業容拡大に伴う人材採用と育成、事業所拡張をはじめとする開発体制強化のための設備投資等の費用が発生しております。

当社の主たる事業である受託開発事業は、金融機関のI T投資予算の制約や、生命保険会社の新商品販売時期の10月頃集中により、売上高、営業利益、経常利益とも、1月から3月(第2四半期)、7月から9月(第4四半期)に偏重する傾向がありますが、当年においては、11年振りに保険業法に規定される標準生命表が改定され、生保各社の料率改定や新商品の投入が4月に集中することとなりました。この影響を受け、当第3四半期累計期間の売上高は4,838,622千円(前年同四半期比11.2%増)、営業利益は382,734千円(前年同四半期比614.8%増)、経常利益は377,538千円(前年同四半期比738.3%増)、四半期純利益は224,703千円(前年同四半期比1215.4%増)となりました。

なお、当社はシステム開発事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ667,778千円増加し、4,259,199千円となりました。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は3,326,258千円で、前事業年度末に比べ407,669千円増加しております。これは主として現金及び預金が1,074,465千円増加した一方で、売掛金が695,020千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は932,940千円で、前事業年度末に比べて260,109千円増加しております。これは主として有形固定資産に含まれる建物付属設備が234,215千円増加したこと等によるものであります。

② 負債

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ520,827千円増加し、2,650,080千円となりました。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,818,889千円で、前事業年度末に比べて201,157千円増加しております。これは主として1年内返済予定の長期借入金が104,139千円、その他に含まれる未払金が59,667千

円、前受金が46,846千円増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は831,191千円で、前事業年度末に比べて319,669千円増加しております。これは主として長期借入金が201,441千円、資産除去債務が90,974千円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は1,609,118千円で、前事業年度末に比べて146,951千円増加しております。これは四半期純利益を224,703千円計上した一方で、剰余金の配当を89,246千円計上したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年5月14日に発表しました業績見通しに変更はございません。

なお、上記に記載した業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

今後、当社業績に影響を与える事象が発生した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年9月30日) | 当第3四半期会計期間 (平成30年6月30日) |
|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 911,589 | 1,986,054 |
| 売掛金 | 1,588,897 | 893,877 |
| 仕掛品 | 354,872 | 373,020 |
| その他 | 64,516 | 73,574 |
| 貸倒引当金 | △1,286 | △268 |
| 流動資産合計 | 2,918,589 | 3,326,258 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 130,868 | 391,730 |
| 無形固定資産 | 91,544 | 130,070 |
| 投資その他の資産 | 450,417 | 411,140 |
| 固定資産合計 | 672,831 | 932,940 |
| 資産合計 | 3,591,420 | 4,259,199 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年9月30日) | 当第3四半期会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 265,946 | 243,155 |
| 短期借入金 | 600,000 | 600,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 430,580 | 534,719 |
| 未払法人税等 | 82,335 | 76,456 |
| 受注損失引当金 | 20,606 | 58,526 |
| その他 | 218,263 | 306,031 |
| 流動負債合計 | 1,617,731 | 1,818,889 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 437,641 | 639,082 |
| 役員退職慰労引当金 | 25,666 | 34,000 |
| 資産除去債務 | 40,411 | 131,385 |
| その他 | 7,802 | 26,723 |
| 固定負債合計 | 511,521 | 831,191 |
| 負債合計 | 2,129,253 | 2,650,080 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 363,320 | 365,720 |
| 資本剰余金 | 244,386 | 246,786 |
| 利益剰余金 | 854,687 | 990,143 |
| 自己株式 | △313 | △604 |
| 株主資本合計 | 1,462,081 | 1,602,046 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 85 | 79 |
| 評価・換算差額等合計 | 85 | 79 |
| 新株予約権 | — | 6,991 |
| 純資産合計 | 1,462,167 | 1,609,118 |
| 負債純資産合計 | 3,591,420 | 4,259,199 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日) | 当第3四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 4,351,455 | 4,838,622 |
| 売上原価 | 3,652,500 | 3,714,957 |
| 売上総利益 | 698,955 | 1,123,665 |
| 販売費及び一般管理費 | 645,414 | 740,930 |
| 営業利益 | 53,541 | 382,734 |
| 営業外収益 | | |
| 受注損失引当金戻入額 | 80 | 5,643 |
| 受取賃貸料 | 1,782 | 2,492 |
| その他 | 3,237 | 3,189 |
| 営業外収益合計 | 5,100 | 11,324 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,761 | 13,500 |
| その他 | 3,846 | 3,020 |
| 営業外費用合計 | 13,607 | 16,521 |
| 経常利益 | 45,034 | 377,538 |
| 税引前四半期純利益 | 45,034 | 377,538 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 24,797 | 124,480 |
| 法人税等調整額 | 3,154 | 28,354 |
| 法人税等合計 | 27,951 | 152,834 |
| 四半期純利益 | 17,082 | 224,703 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。